

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立成育小

学校

児童数

127

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.05	19.79	32.05	36.45	44.15	9.39	153.49	18.56	50.32
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.50	17.56	35.79	33.42	29.87	9.93	141.98	10.56	49.42
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力テスト8種目のうち、男子は5種目、女子は全ての種目で全国平均よりも記録が低かった。男子は全国平均との差は少ないが、女子は差が大きく、持久力や投げる力が特に差が大きかった。そのため、体力合計点も、男子は2.21点の差だが、女子は4.5点も差があった。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問で、肯定的に回答する割合を全国平均と比べると、男子は4.9%高かったが、女子は9.9%低かった。

また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、全国平均と比べると、男子は5.4%少なく、女子は2.1%多かった。

これらの結果から、男子は運動やスポーツが好きで運動する時間も長い、女子はそうではないことが分かり、それが体力テストの結果に影響している。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

児童の「走力・持久力」向上を目指し、昨年度に続き、体育科の学習でラダーによる準備運動やタグ取り鬼ごっこ、冬にはリズム縄跳びや蒲生グラウンド全面を使った鬼ごっこなど、各学年の実態に応じて実施した。また、運動委員会でも昨年度から継続して「柔軟運動」「なわとび」に重点的に取り組んだ。「柔軟運動」では体育科や家庭で柔軟運動に取り組めるように動画を作成した。「なわとび」では、なわとびカードを活用し、自主的に取り組めるようにした。これらの取り組みにより、楽しく運動やスポーツを行えるようになった。

しかし、昨年度の体力テストの結果と比べると、男女ともに全国平均と比べると記録は悪くなっている。その一つの要因として、校舎改築工事のため、運動場が狭くなり、体を動かす機会が激減したことが考えられる。そこで、狭い場所でもできる運動や一人でも体力の向上が図れる取り組みをしたり、全学年ができる限りたくさんの運動をするために講堂使用の配分を見直したり、近隣グラウンドの毎日活用できるようにしたりするなど、運動やスポーツをする時間や場所の確保をしていく。